

◎株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<お問い合わせ先>	TEL 0120-232-711 (通話料無料)
〈各種手続 用紙のご請求〉	TEL 0120-244-479 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の
電話およびインターネットでも24時間承っております。

TEL (通話料無料) 0120-244-479
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、「(株)証券保管振替機構」に預託されました株券についての
諸届および手続等に関するお問い合わせは、お取引先の証券会社へ
お願いいたします。

 **大豊工業株式会社**

お問い合わせ TEL (0565) 28-2225 総務部広報室

 R100

古紙/再生紙配合率100%再生紙を使用

 PRINTED WITH
SOY INK

第101期 株主通信

平成18年4月1日～平成19年3月31日
証券コード 6470



CONTENTS

- ◎株主の皆様へ
- ◎営業の概況
- ◎中期経営計画
- ◎業績ハイライト
- ◎セグメント情報
- ◎トピックス
- ◎製品のご紹介
- ◎グローバルネットワーク
- ◎連結決算の概要
- ◎株式の概況
- ◎会社の概況

 **大豊工業株式会社**

◎株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第101期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の決算の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成19年6月

取締役社長
高橋 清八



◎営業の概況

当社の取り組み

当期の具体的実施事項として、国内事業として'05年4月に設立した「大豊岐阜株式会社」にて、更なる生産拡大対応のため、'06年8月に第2工場を設立、競争力強化に向けた生産効率の向上を図ってまいります。海外事業としては、当社の100%出資子会社である「タイホウ コーポレーション オブ アメリカ」は、米国の自動車部品メーカー「Federal Mogul」と設立したガasket製造合弁会社「ティーエフ グローバルガasket 有限会社」を解散し、米国における当社顧客へのガasket供給を継続すべく、米国第2の生産拠点として、「タイホウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC」を設立いたしました。また、中国における生産体制の強化として、当社の子会社「大豊工業（煙台）有限公司」において、第2工場の建設をスタートし、'07年8月に完成を予定しております。

当期の業績

当期の連結業績につきましては、大豊精機株式会社および大豊岐阜株式会社において、部品事業の生産が本格的に稼動したこと、また、日本ガasket株式会社を'05年10月より子会社としたことなどにより、連結売上高は、1,058億6千万円となり、前期に比べ101億2千万円（前期比10.6%増）の増収となりました。連結営業利益は、原材料価格の上昇、減価償却費および新製品立上げ費用などの増加がありましたが、増産効果およびグループあがての経営全般にわたる合理化活動に取り組んだ結果、41億5千万円となり、前期に比べ10億2千万円（前期比32.6%増）の増益となりました。連結経常利益は、支払利息などの増加による減益要因がありましたが、為替差益の増加などにより、42億8千万円となり、前期に比べ10億7千万円（前期比33.3%増）の増益となりました。連結当期純利益は25億9千万円となり、前期に比べ8億1千万円（前期比45.9%増）の増益となりました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき9円をお支払いさせていただきましたが、期末の配当金につきましては、1株につき12円とし、年間といたしましては前期に比べ3円増配の1株につき21円とさせていただきます。

次期の業績につきましては、連結売上高は1,080億円（前期比2.0%増）、連結営業利益は47億円（前期比13.1%増）、連結経常利益は46億円（前期比7.3%増）、連結当期純利益は27億円（前期比3.9%増）を見込んでおります。

今後の経営環境および当社の展開

当社は、'06年度から'08年度を中期として、中期経営計画を策定し、中期経営方針に「技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く」、スローガンに「自ら創造、自ら挑戦」を掲げ、更なる事業の成長、およびグループ全体における経営基盤強化に向けて取り組んでおります。特に'07年度は、「自ら考え『変えること』に挑戦」を年度重点方針として、展開を進めております。

◎中期経営計画（2006～2008年）

経営方針

技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く

スローガン

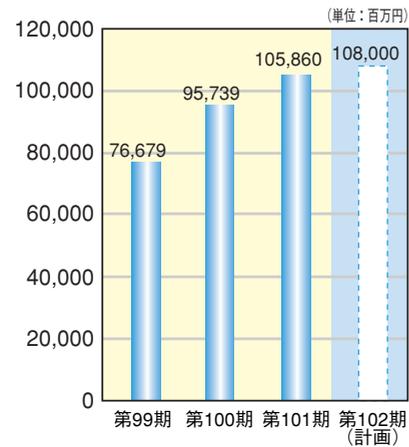
自ら**創造** 自ら**挑戦**

●中期達成目標

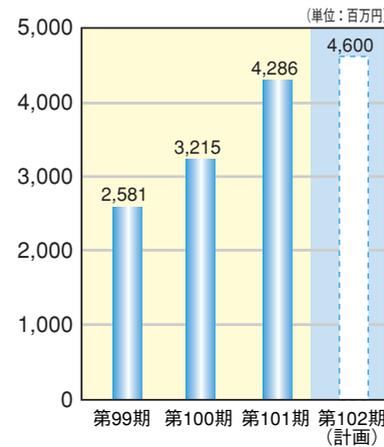
- ①環境、安全、コンプライアンスが浸透した風土づくり
- ②技術・品質、No.1の商品づくり
- ③スクラップ&ビルドによる経営資源の集中と、高収益体質づくり
（事業別経営戦略と、グループ経営の強化）
- ④世界競争を勝ち抜く人材の育成と組織づくり

◎業績ハイライト (連結)

◆売上高



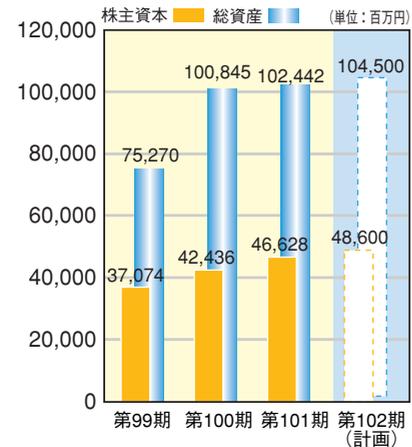
◆経常利益



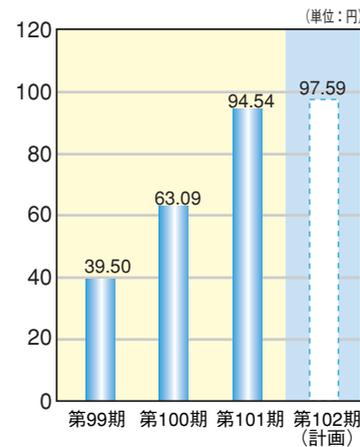
◆当期純利益



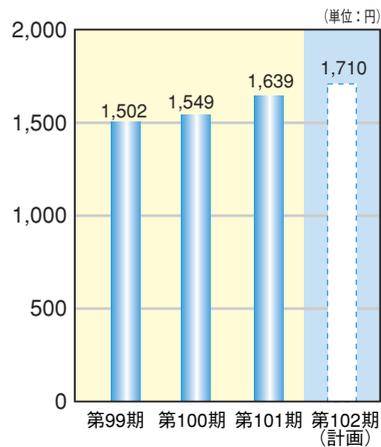
◆総資産/株主資本



◆1株当たり当期純利益

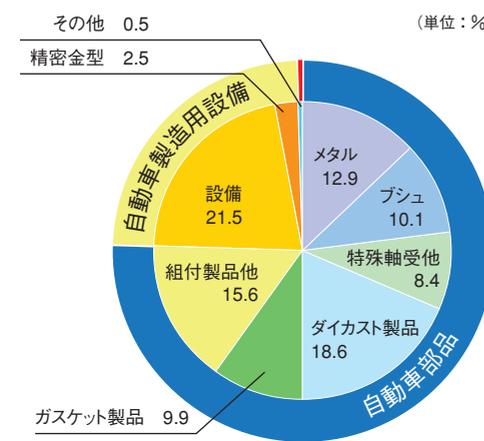


◆1株当たり株主資本

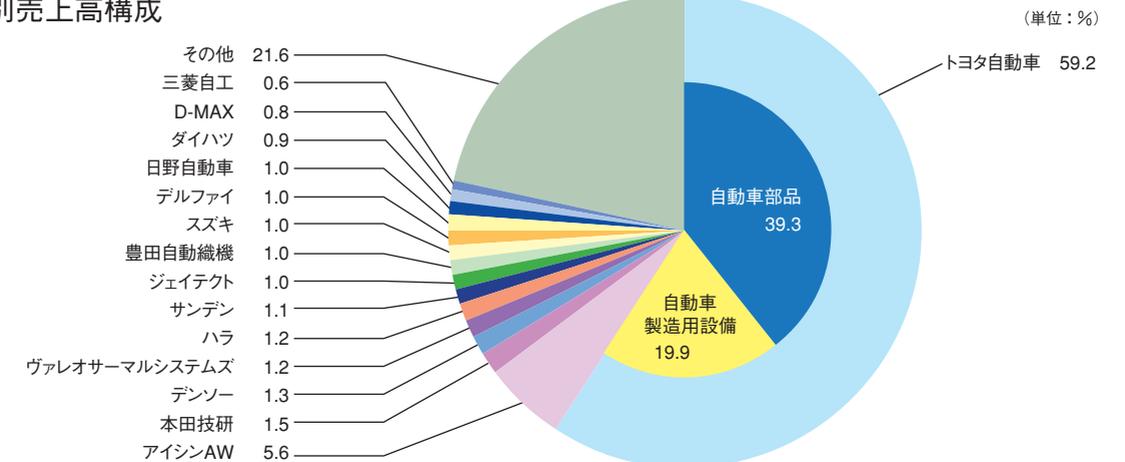


◎セグメント情報 (連結)

◆製品別売上高構成



◆客先別売上高構成



◎トピックス

「大豊岐阜株式会社」第2工場 竣工

当社連結子会社の「大豊岐阜株式会社」は、最新鋭の生産ラインを備えたエンジンベアリング生産拠点として、2006年8月に第2工場を竣工いたしました。

第1工場はアルミダイカスト製品の生産拠点として2005年8月より操業しております。今回の第2工場竣工により、エンジンベアリングの生産能力拡大および生産効率の向上をめざします。

今後もグローバルな規模で自動車生産台数の増加が見込まれるなか、大豊グループは大豊岐阜株式会社の生産能力拡大により軸受事業、ダイカスト事業をさらに強化し、お客様の期待を上回る製品の供給に努めてまいります。



社 名：大豊岐阜株式会社
所 在 地：岐阜県可児郡御嵩町2188番地6
設 立 日：2005年4月1日
出資比率：大豊工業株式会社100%
業務内容：エンジンベアリング、アルミダイカスト製品等の製造
売 上 高：28億円（2006年度）



大豊岐阜株式会社の主な製品

●エンジンベアリング



●デフキャリア



●OCVスリーブ



中国「大豊工業（煙台）有限公司」第2工場 建設を開始

当社連結子会社の中国現地法人「大豊工業（煙台）有限公司」は、当社の生産設備・技術導入による軸受の高性能・高品質の要求への対応、および日系自動車メーカーの現地生産への対応、拡大していく中国ディーゼルエンジン市場への対応を目的として、新工場の建設を開始しました。操業は2007年10月を予定しております。

社 名：大豊工業（煙台）有限公司
所 在 地：中国山東省煙台市経済技術開発区
設 立 日：2002年12月
出資比率：大豊工業株式会社100%
業務内容：エンジンベアリング等の製造、販売
売 上 高：15億円（2006年度）



米国「タイホウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC」を設立

当社連結子会社の米国現地法人「タイホウ コーポレーション オブ アメリカ」は、「Federal Mogul」とのガスケット製造合弁会社「ティーエフ グローバルガスケット有限会社」を解散し、100%出資子会社「タイホウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC（以下 TTN）」を2007年2月に設立いたしました。このTTNを北米第2の生産拠点として位置付けガスケット製品以外の生産も視野に入れ、北米事業の体制強化を図ってまいります。

社 名：タイホウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC
所 在 地：米国テネシー州ゴードンズビル
設 立 日：2007年2月1日
出資比率：タイホウ コーポレーション オブ アメリカ100%
業務内容：自動車エンジン用ガスケットの製造
売 上 高：14億円（2006年度）



◎製品のご紹介

製品トピックス

鉛フリー高性能エンジンベアリング RA530/SA250



樹脂オーバーレイRA530は、従来品のバインダー樹脂を分子構造まで遡り見直し、相反する性質である高温での強度と伸びを同時に実現しました。その結果、高強度アルミニウム合金SA250と組み合わせることで、より高圧・高周速領域での使用が可能となりました。現在、トヨタ自動車(株)レクサスISを始めとする高性能エンジンに数多く採用されており、2005年には、レクサスISプロジェクト表彰(技術の部)を受賞し、各自動車メーカーから高い評価を頂いております。

鉛フリー高性能ブシュラインナップ



現在環境への配慮から環境負荷物質低減が不可欠になってきており、欧州ではE L V規制により2008年8月より青銅鉛系ブシュの使用が禁止されます。大豊工業は、高周波焼結を始めとする新たな生産技術と独自の材料開発技術を組み合わせることで、E L V規制に先駆けて、様々な潤滑状態、使用部位に適した鉛フリーブシュのラインナップ化を実現しました。各種ブシュは、自動車メーカーを始めとしてその他メーカーにも数多く採用され、各社より高い評価を頂いております。

大型ディーゼルトラック用バタフライ式EGRバルブ



バタフライ式EGRバルブは、流路抵抗及び駆動力が小さいという利点がありながら、全閉時の締め切り性の悪さといった懸念事項により現在まで採用されてきませんでした。今回新概念のシール構造(特許登録番号3726815)を開発することで、日本で初めてバタフライ式EGRバルブを実用化しました。さらにDCモーターと非接触角度センサーを用いたアクチュエーターを採用。大量EGRと精密制御が可能となり、排気規制である新長期規制への対応に大きく貢献しています。

■ エンジンベアリング

半世紀に及ぶトライボロジー(摩擦技術)の研究成果と材料からの一貫生産による高性能、高品質エンジンベアリングは世界中の自動車メーカーから高く評価されています。



■ ブシュ・ワッシャ

多様なニーズに応える豊富なバリエーション。高度な摩擦技術に基づき、さまざまな使用部位に応じた材料、形状をご提案しています。



■ メタルガスケット

アルミ製シリンダヘッド用としては世界初の画期的な一層メタルヘッドガスケットなど、つねに新たなコンセプトによる製品づくりをめざし、市場の高い評価を得ています。



■ EGRバルブ/アクチュエータ

過酷な環境下で確実な作動を要求されるEGRバルブやターボチャージャー用アクチュエータなど、摩擦技術の応用と高度な製造技術によって各種高性能部品を製造しています。



■ アルミダイカスト製品

高精度、高強度、複雑形状など、これまでダイカストでは困難とされてきたさまざまな製品に挑戦し、その高度な技術力で付加価値の高い製品を生み出しています。



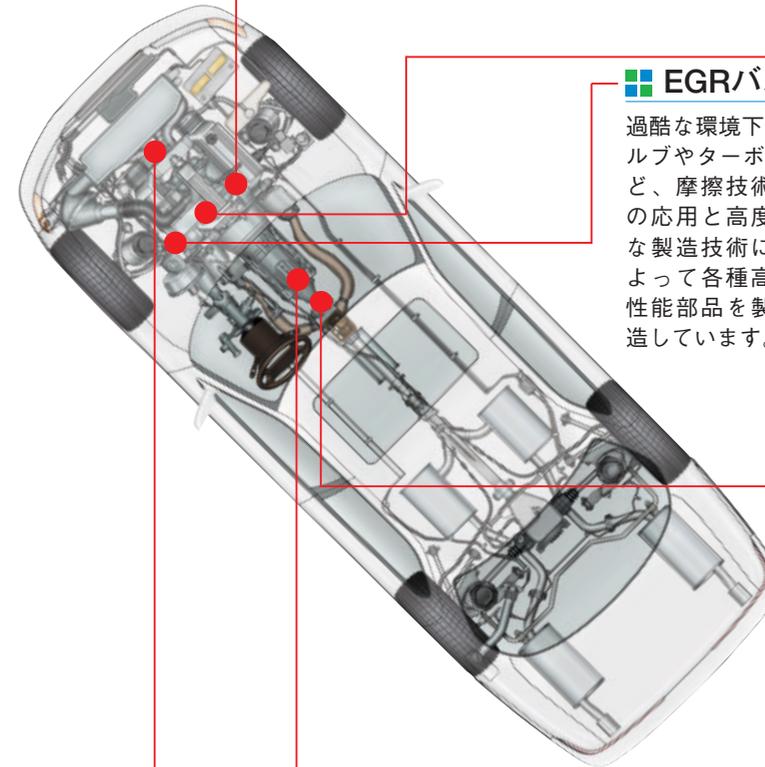
■ 電気電子部品

オートマチックトランスミッション用ソレノイドバルブの駆動部位であるコイルコアアッシーを生産。当社のコア技術であるすべり軸受を使用し、小型軽量かつ優れた樹脂成形技術により高い信頼性を確保しています。



■ 精密金型

焼結型、精密鋳造型、精密プラスチック成型型など、多様な用途において極めて高精度を要求される精密金型を製造しています。



◎グローバルネットワーク

●大豊精機 株式会社



- ・事業内容
自動車製造用設備
自動車用部品
- ・売上高
267億5千3百万円

●日本ガスケット 株式会社



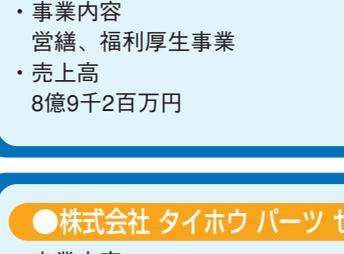
- ・事業内容
ガスケット製品等
- ・売上高
98億8百万円

●株式会社 ティーイーティー



- ・事業内容
金型
自動車用部品
- ・売上高
19億9千6百万円

●株式会社 タイホウ ライフ サービス



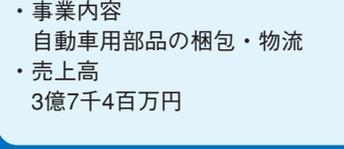
- ・事業内容
営繕、福利厚生事業
- ・売上高
8億9千2百万円

●大豊岐阜 株式会社



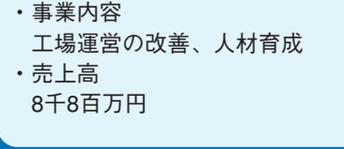
- ・事業内容
自動車用部品
- ・売上高
28億1千7百万円

●株式会社 タイホウ パーツ センター



- ・事業内容
自動車用部品の梱包・物流
- ・売上高
3億7千4百万円

●株式会社 タイホウ テクノ サービス



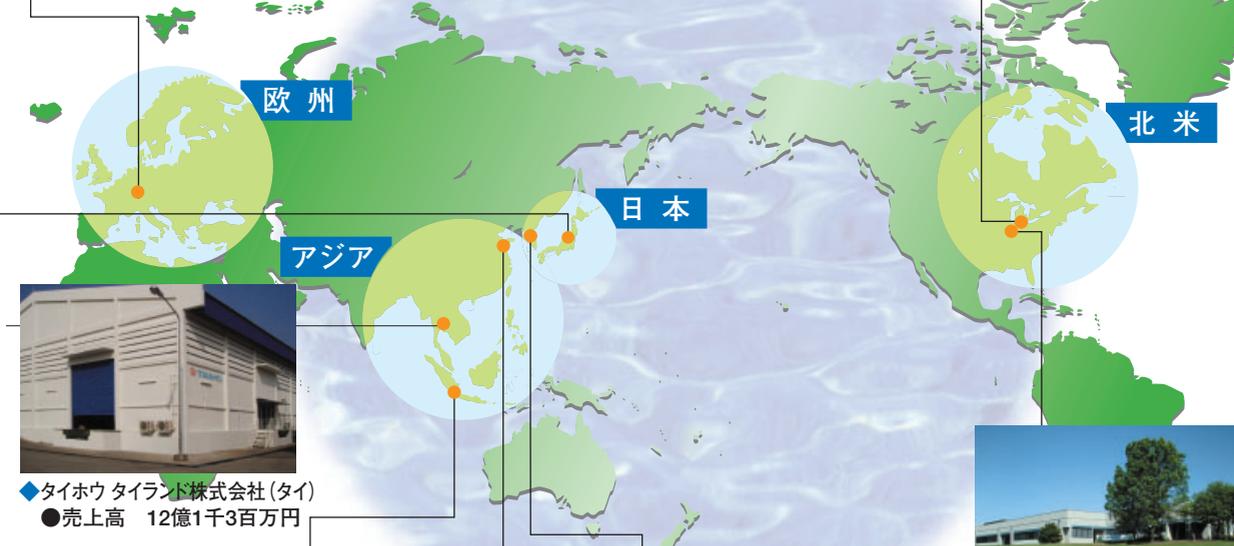
- ・事業内容
工場運営の改善、人材育成
- ・売上高
8千8百万円



- ◆タイホウ コーポレーション
オブ ヨーロッパ 有限会社 (ハンガリー)
- 売上高 30億7千6百万円



- ◆タイホウ コーポレーション
オブ アメリカ (米国)
- 売上高 43億7千9百万円



- ◆タイホウ タイラント株式会社 (タイ)
- 売上高 12億1千3百万円



- ◆タイホウ マニュファクチャリング
オブ テネシー LLC (米国)
- 売上高 14億3千5百万円



- ◆タイホウ ヌサンタラ株式会社
(インドネシア)
- 売上高 8億4千万円



- ◆大豊工業(煙台) 有限公司 (中国)
- 売上高 15億3千8百万円



- ◆韓国大豊株式会社 (韓国)
- 売上高 12億4千4百万円

◎連結決算の概要

連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部		
科目	当期 H19.3.31現在	前期 H18.3.31現在
流動資産	45,161	45,815
現金預金	13,582	14,246
受取手形及び売掛金	21,090	19,829
有価証券	599	1,900
たな卸資産	6,697	7,042
その他	3,192	2,797
固定資産	57,280	55,029
有形固定資産	50,147	48,521
無形固定資産	537	247
投資その他の資産	6,595	6,260
合計	102,442	100,845

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期 H18.4.1から H19.3.31まで	前期 H17.4.1から H18.3.31まで
売上高	105,860	95,739
売上原価	91,797	83,692
販売費及び一般管理費	9,908	8,915
営業利益	4,154	3,131
営業外収益	916	671
営業外費用	784	588
経常利益	4,286	3,215
特別利益	66	312
特別損失	81	305
税金等調整前当期純利益	4,271	3,223
法人税、住民税及び事業税	1,525	1,684
法人税等調整額	35	△346
少数株主利益	110	104
当期純利益	2,599	1,781

負債の部		
科目	当期 H19.3.31現在	前期 H18.3.31現在
流動負債	27,813	28,503
固定負債	28,000	28,511
社債	16,000	16,000
退職給付引当金	2,638	2,999
その他	9,361	9,511
負債合計	55,814	57,015
純資産の部		
株主資本	43,249	40,884
資本金	5,967	5,762
資本剰余金	9,436	9,232
利益剰余金	28,029	26,071
自己株式	△184	△182
評価・換算差額等	2,097	1,551
その他有価証券 評価差額金	913	870
為替換算調整勘定	1,184	681
新株予約権	9	—
少数株主持分	1,271	1,393
純資産合計	46,628	43,829
合計	102,442	100,845

平成18年5月1日施行の会社法により「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。

連結株主資本等変動計算書

当期（H18.4.1からH19.3.31まで）

単位：百万円

	株主資本					評価・換算 差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成18年3月31日残高	5,762	9,232	26,071	△182	40,884	1,551	—	1,393	43,829
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△494		△494				△494
利益処分による役員賞与			△157		△157				△157
当期純利益			2,599		2,599				2,599
ストックオプション行使による資本組入	204	204			409				409
自己株式の取得				△2	△2				△2
自己株式の処分		0		0	0				0
その他			9		9				9
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額（純額）						545	9	△121	433
連結会計年度中の変動額合計	204	204	1,957	△2	2,365	545	9	△121	2,798
平成19年3月31日残高	5,967	9,436	28,029	△184	43,249	2,097	9	1,271	46,628

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期 H18.4.1から H19.3.31まで	前期 H17.4.1から H18.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,539	6,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,320	△14,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	14,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	182	327
現金及び現金同等物の増減額	△1,662	6,602
現金及び現金同等物の期首残高	14,723	7,221
新規子会社の現金及び現金同等物受入に伴う増加高	—	900
現金及び現金同等物の期末残高	13,060	14,723

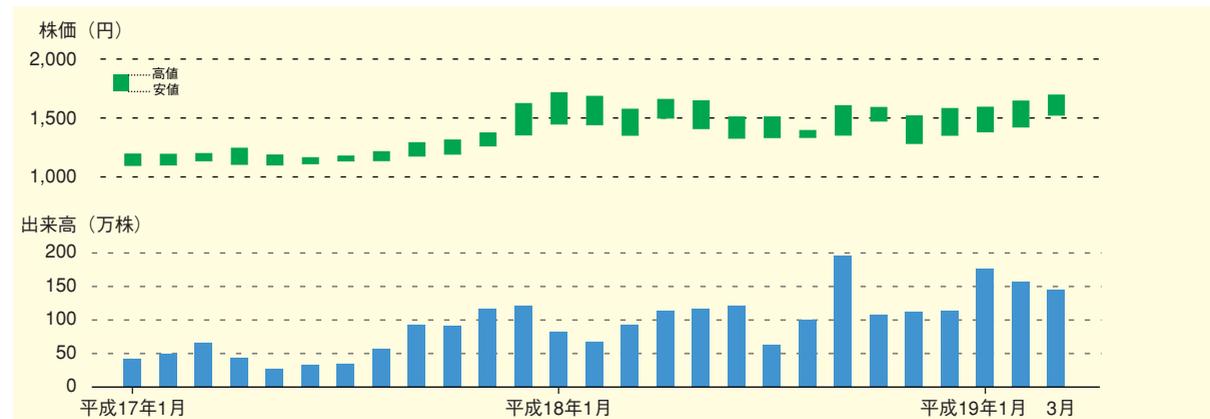
平成18年5月1日施行の会社法により「連結剰余金計算書」が廃止され、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。これは貸借対照表の純資産の部のなかで、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その会計年度における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するための計算書類です。

◎株式の概況（平成19年3月31日現在）

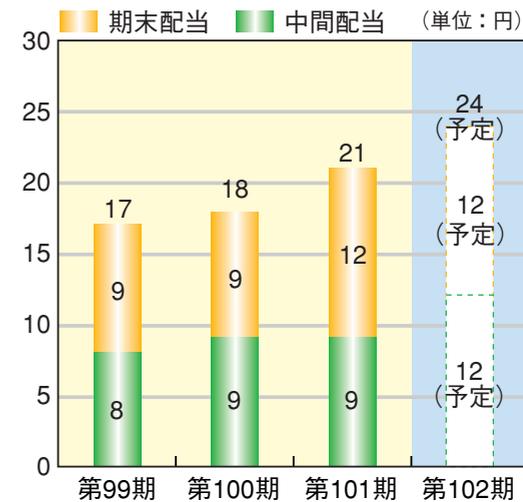
- 発行可能株式総数 48,400,000株
- 発行済株式総数 27,815,590株
- 株主数 5,025名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,198
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	959
大豊工業従業員持株会	406
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーファイデリティファンズ	391
野々山 秀夫	315
柴田 幸子	256

● 株価の推移



● 1株当たり年間配当金



◎会社の概況（平成19年3月31日現在）

会社概要

創業 昭和19年1月
 資本金 59億6千7百万円
 従業員数 連結：3,118名
 単独：1,448名
 本社所在地 〒471-8502
 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL (0565) 28-2225（代表）
 事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット製品、組付製品他、精密金型
 上記製品の製造および販売

事業所および営業所

- 本社／本社工場（愛知県豊田市）
- 細谷工場（愛知県豊田市）
- 篠原工場（愛知県豊田市）
- 九州工場（鹿児島県出水市）
- 春日井工場（愛知県春日井市）
- 幸海工場（愛知県豊田市）
- 土岐工場（岐阜県土岐市）
- 東京営業所（東京都中央区）
- 大阪営業所（大阪府大阪市淀川区）
- 静岡営業所（静岡県掛川市）
- デュッセルドルフ事務所（ドイツ）

主な子会社

大豊精機株式会社
 株式会社ティーイーティー
 株式会社タイハウ ライフ サービス
 株式会社タイハウ テクノ サービス
 株式会社タイハウ パーツ センター
 大豊岐阜株式会社
 日本ガスケット株式会社
 タイハウ コーポレーション オブ アメリカ
 タイハウ ヌサンタラ株式会社
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社
 韓国大豊株式会社
 大豊工業（煙台）有限公司
 タイハウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC（平成19年2月1日設立）

主な関連会社

日本メタルガスケット株式会社
 ティーエフグローバルガスケット有限会社（平成19年6月30日解散予定）
 ヤマテ工業株式会社
 タイハウ タイランド株式会社

役員（平成19年6月20日現在）

取締役社長	高橋 清	八義
専務取締役	河合 弘	紀幸
専務取締役	天野 利	生一
専務取締役	斎藤 和	彦隆
常務取締役	熊田 喜	則廣
常務取締役	山崎 謙	一司
常務取締役	近藤 隆	也知
常務取締役	河野 文	次夫
取締役	野村 義	仁樹
取締役	松野 雅	成
取締役	島崎 敬	
取締役	神谷 莊	
取締役	川上 真	
取締役	佐藤 英	
取締役	柴田 兼	
常勤監査役	野々山 秀	
常勤監査役	岩堀 康	
監査役	葉山 稔	
監査役	伊藤 英	